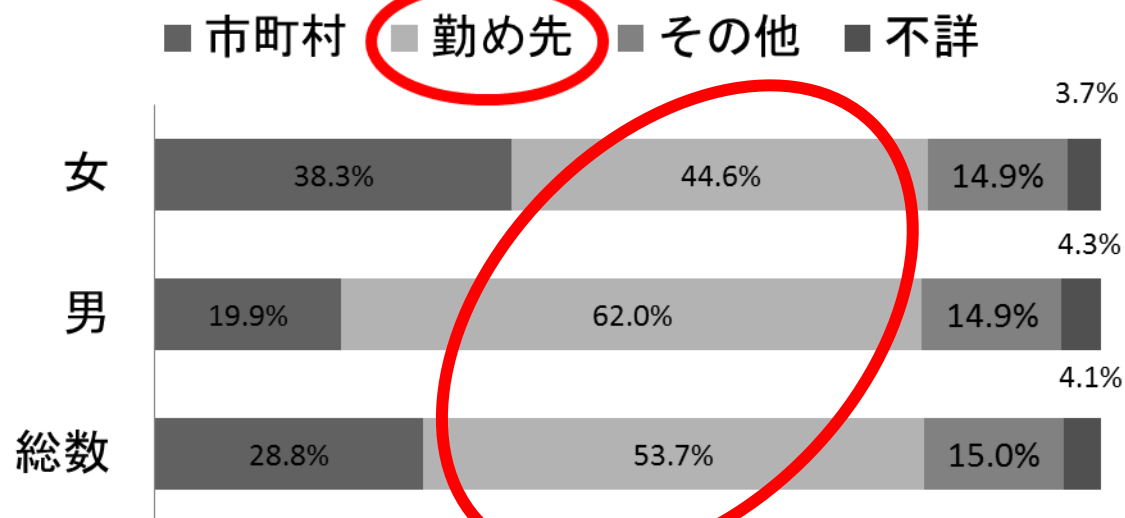


がん検診受診率に関する分析(1)～受診先～

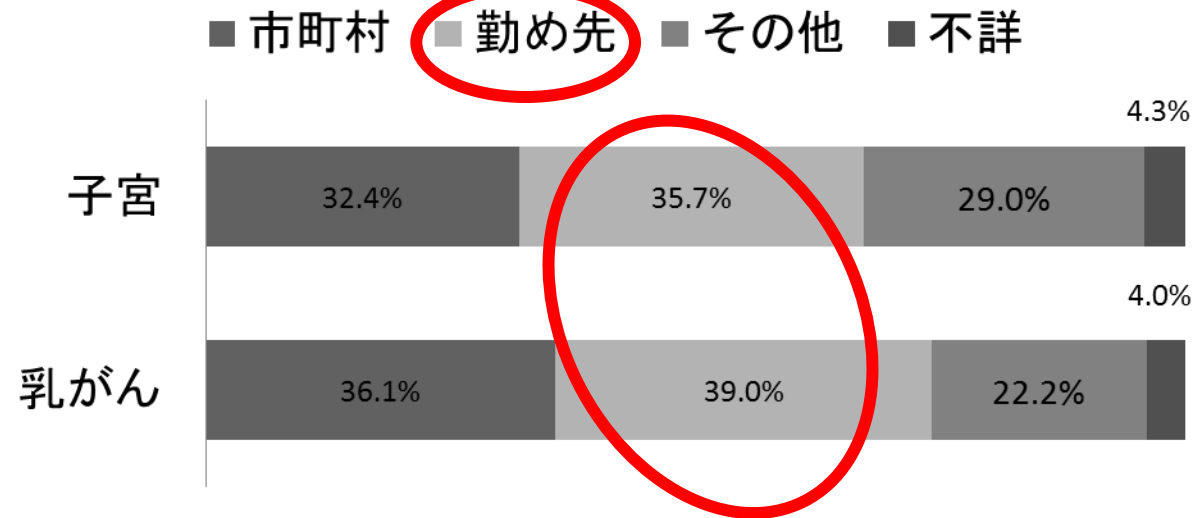
➤ 市町村よりもむしろ勤め先のがん検診を多く受診。

- がん検診受診率の出典「国民生活基礎調査」（厚生労働省実施）の直近調査（平成28年）において、新たにがん検診の「受診先」が項目に加わり判明。

大腸がん検診受診先（埼玉県）



乳がん・子宮がん検診受診先（埼玉県）

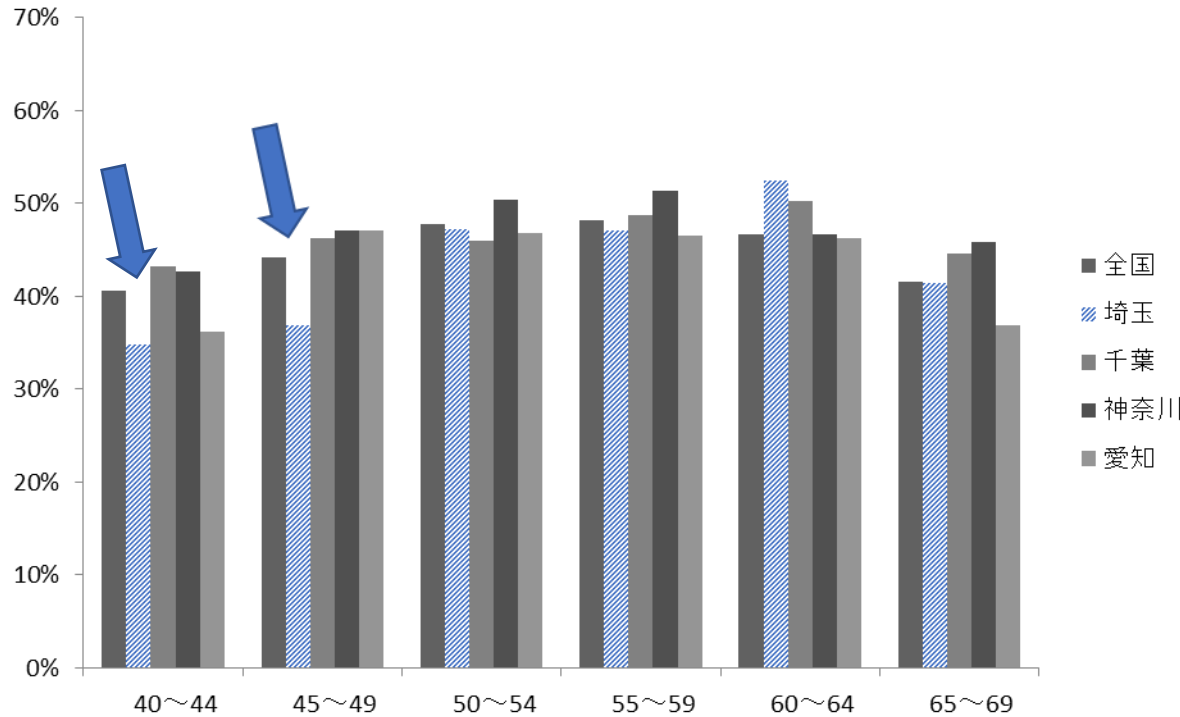


平成28年国民生活基礎調査

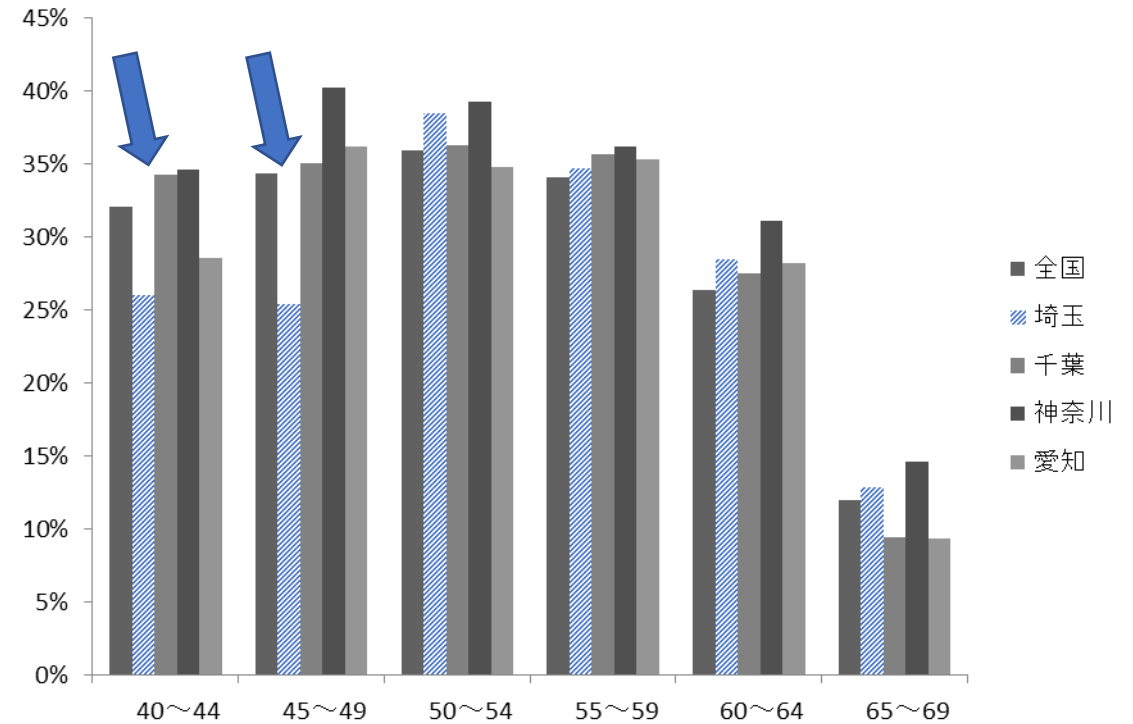
がん検診受診率に関する分析(2) ～40代男性～

- 40代の男性の受診率が低く、勤め先でのがん検診の受診率が低いことが受診率を下げている要因の一つと推測される。

大腸がん検診 受診率 男



大腸がん検診 勤め先で受けた受診率 男



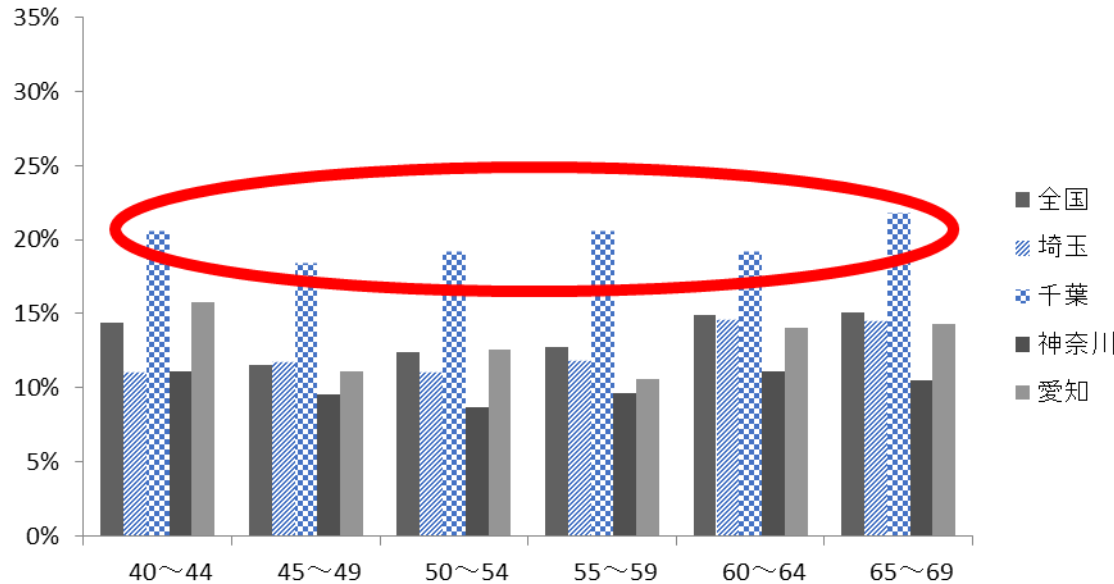
※ 胃がん、肺がんとも同様の傾向が見られる。

平成28年国民生活基礎調査

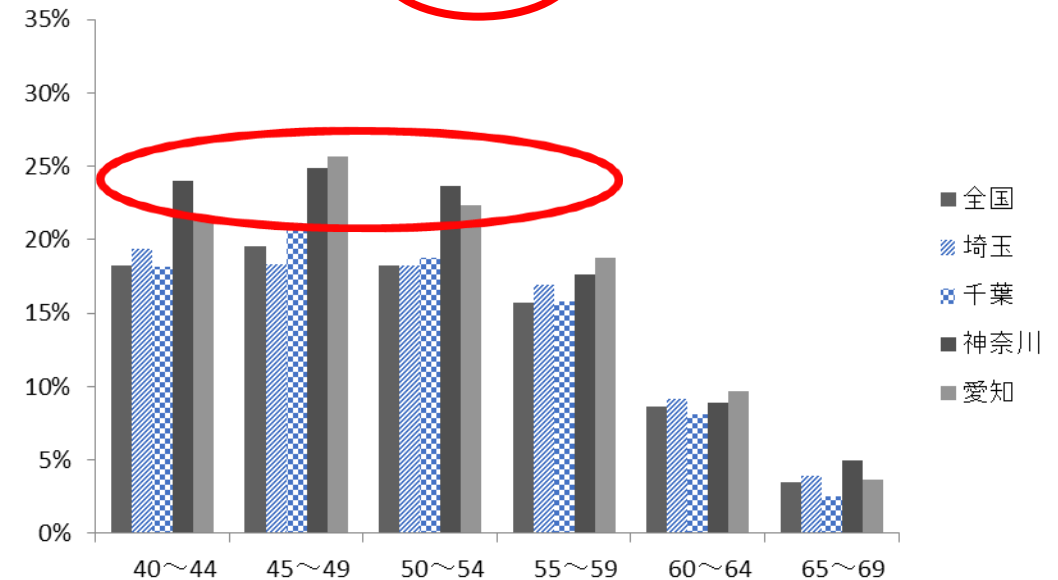
がん検診受診率に関する分析(3)～女性～

- 市町村でのがん検診受診率は千葉県と比較して低い。
- 勤め先でのがん検診受診率は、神奈川県、愛知県と比較して低い。

乳がん検診 **市町村**で受けた受診率 女

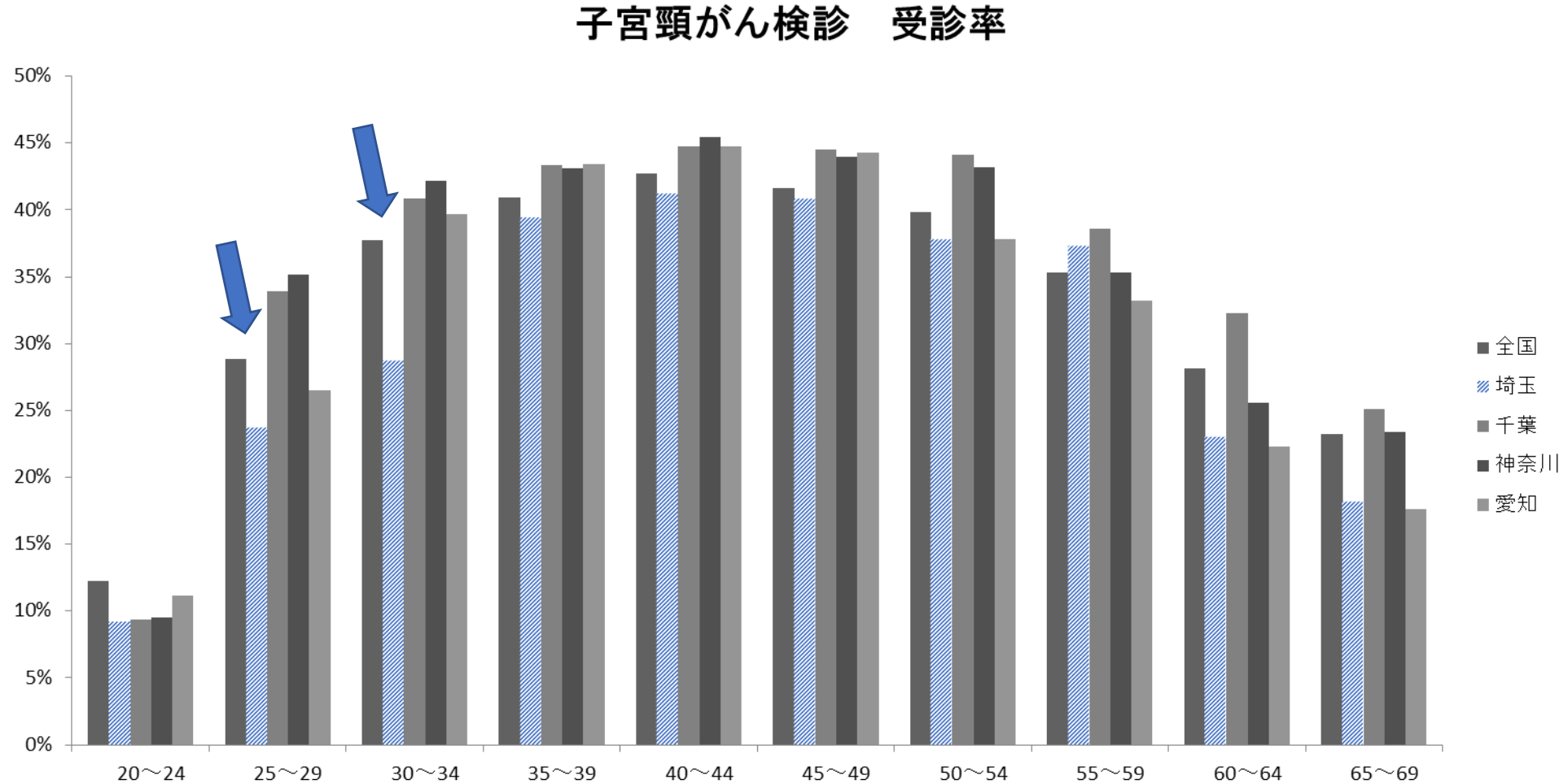


乳がん検診 **勤め先**で受けた受診率 女



がん検診受診率に関する分析(4)～子宮頸がんについて～

➤ 特に子宮頸がんの受診率が「若年層」で低い。



平成28年国民生活基礎調査